

(別紙様式1)

「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	美濃加茂市立蜂屋小学校		
実 施 期 間	平成25年11月10日(日)～11月30日(土)		
実 施 概 要	・11月10日(日) 蜂屋地区文化祭参加 ・11月20日(水) 「蜂屋柿づくり(皮むき作業)」 ・11月30日(土) 家族参観日「わくわくサイエンスDAY」の実施		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input checked="" type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保護者	約350人	計 約550人
	地域関係者	約200人	
実 施 状 況	<b>① 「蜂屋町文化祭」参加</b> ・各学年の書写、絵画、工作、家庭科作品とクラブ作品を展示した。 ・ステージ発表では特別支援学級が和太鼓演奏、4年生が合唱発表を行った。		
			
実 施 状 況	<b>② 蜂屋柿づくり(皮むき作業)」の実施</b> 堂上蜂屋柿は1000年の伝統を誇る蜂屋地区の特産品である。蜂屋柿振興会の会長さんなど5人の方に、蜂屋柿の歴史の話や皮むきの手ほどきをしていただきながら、3年生と6年生が皮むき作業と硫黄での燻蒸の体験をした。(この後、1カ月間で全行程を体験)		
	 <p>むいた柿をていねいに並べる5年生</p> <p>振興会の方からむき方を習う3年生</p>		
実 施 状 況	<b>③ わくわくサイエンスDAY」(家族参観日)の実施</b> ・PTA家族参観日とし、広く保護者の参加を呼びかけた。このサイエンスDAYは今年度で10年目を迎え、児童もたいへん楽しみにし、保護者にも主旨等をよく理解していただいている。土曜日開催ということで、母親だけでなく両親での参加もかなり多く、総数300名ほどの参加者数を数えた。科学に親しむとともに、親子のふれあいの大切さを体感し、この行事を支えてくださっている関係機関やPTA役員、中学生、への感謝の思いを育てる機会にもなっている。また、近隣の二つの保育園(蜂屋保育園と明応保育園)にも案内文書を出し、親子で約30名の参加があり、小学校入学前に本校の教育方針や活動にふれていただくこともできた。		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のボランティア協力者の数も毎年定着し、今年は26名の参加があった。その他にもPTA本部役員5名、学級委員24名の参加があった。</li> <li>・関係機関の協力も定着しており、例年の加茂高校（7名）、加茂農林高校（8名）関西電力（株）（3名）、（株）ヤガミ（2名）の4関係機関以外にも、今年度は新たにコンティグアイの参加もあり、全部で24種類のショップが開催された。</li> <li>・当日、児童は、低中高学年ごとのグループに分かれて各ショップを回り、科学実験や科学的な考え方や力を応用した作品づくりを楽しんだ。</li> <li>・午後からは「不思議が楽しいオモチャ笑劇場」という演題で、名古屋市立西養護学校の市原千明先生に、様々な実験を交えながら「科学」についての講演をしていた。子どもたちは楽しく参加でき、科学への関心をさらに高めることができた。</li> </ul>
<p>成果及び課題 *保護者・地域の反応や意見等</p>	<p><b>【成果】</b></p> <p>① 「わくわくサイエンスDAY」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も地元2保育園の全保護者へ案内を出し、多数の保育園児の親子参加があった。中学生ボランティアの参加もあり、保育園及び中学校との連携も継続している。</li> <li>・土曜日の参観日ということで、ほとんどの保護者の参加があり、児童と一緒に楽しく科学実験等の体験をする中で、本校の教育活動の方針等を理解していただけた。特に、父親の参加が年々増加してきているのは喜ばしいことである。</li> <li>・昨年同様、関係団体やPTA本部役員もショップを担当していただだけ、連携が着実に深まっている。今年度は美濃加茂市市民協同部と連携して、蜂屋柿の皮をエネルギーに変えるバイオエタノールに関するショップを開催し、多くの関心を集めた。</li> <li>・保護者の感想は、「子どもたちが生き生きと楽しそうに活動していてよかった。」「理科的な興味関心を育てることはとっても大切なことなので、これからもずっと続けてほしい。」といった肯定的なものが多かった。保育園の保護者も「小学校とのつながりをつくっていただき、ありがたい。」と話している。</li> </ul> <p>② 「蜂屋柿づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この活動は長年続いている本校の伝統行事である。今年も地域の蜂屋柿振興会とJAから快く協力を得て実施できた。また、新聞社、ケーブルテレビ、FMララからも取材を受け、広く地域に広報されている。保護者からは、地域を知ると共に地域の方々とふれあうよい機会になるので今後も継続してほしいという声が聞かれる。</li> <li>・振興会からは、蜂屋柿の歴史と伝統的な作り方、生産者の願いや工夫を知ってもらうよい機会として、今後も協力をしていきたいとの話をいただいている。</li> </ul> <p>③ 「蜂屋町文化祭」参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々からは、子どもたちの作品や発表を見るのが楽しみであるといった声を聞く。また、作品や発表を通して学校教育への理解を深めていただく機会にもなっている。子どもたちにとっても、地域に根づく文化に触れる機会であると同時に、地域の方々とのふれあいの場にもなっている。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで培ってきた保護者・地域との関係を一層深め定着させていくと共に、今後さらに多くの地域の方々にも学校に来ていただいて、広く学校の教育活動に理解と協力を得ながら、地域の学校としての機能を充実させていくことが大切である。</li> <li>・PTAや関係団体と連携して新しく始めたサイエンスDAYの自然エネルギーに関するショップは、大変注目を集めた活動であり、早期の調整・準備が大切である。</li> <li>・蜂屋地区文化祭においては、地域の作品が少なくなりつつある傾向にあるので、地域の方との連携をさらに取っていく必要がある。</li> <li>・ふるさとを知るための活動をこの時期に集約し、子どもたちが保護者、地域の方々とふれあうとともにふるさとを知る機会として一層充実させていく必要がある。</li> </ul>

